

2025 年 6 月 23 日
株式会社みずほ銀行

建設企業の広域連携による地域課題解決への取り組み

～東北 6 県地場建設企業によるアライアンス企業の設立と出資について～

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、建設業界における東北エリアの人材不足等の課題解決および業界の活性化を目的に、東北 6 県の地場建設企業^{※1}とともに新設共同出資会社「東北アライアンス建設株式会社（代表取締役：陰山 正弘、以下「東北アライアンス建設」）」を設立することに合意し、本日、出資契約の締結を行いました。

本取り組みは、地域建設業界に対する画期的な取り組みとして、地域課題にともに向き合い、地域経済の活性化と次世代への価値継承を目指すものであり、東北アライアンス建設は、みずほのイノベーションネットワークを活用することで、中堅中小建設企業の DX 推進におけるモデルケースとして、人員生産性の向上、コスト削減等に取り組んでいきます。

なお本出資は、みずほ銀行の「価値共創投資枠^{※2}」を活用し、東北 6 県を代表する建設企業の新たな取り組みを後押しするものです。

みずほ銀行は東北アライアンス建設の構想実現に向けて、ビジネスの実装フェーズにおいて東北アライアンス建設の信用力を補完するとともに、当該事業を起点とした新たなサプライチェーン構築やアライアンス支援において重要な役割を果たしていきます。〈みずほ〉は、お客さまの価値共創パートナーとして更なる真価を発揮することを通じ、次世代の有望産業・企業の育成に貢献し、持続的に発展する未来を創っていきます。

1. 東北アライアンス建設の設立目的

建設業界では、人口減少に伴う中長期的なマーケットの縮小や人手不足の加速が顕在化する中、特に東北地域では、東日本大震災の復興需要一巡による需要減少を背景に、多くの建設企業が経営資源の最適化、人材不足、技術的制約などに直面していました。東北アライアンス建設の設立は、このような地域が直面する課題解決や、地場建設企業の広域連携や案件対応力強化による、大型開発等の域内経済循環

NEWS RELEASE

を目的としています。東北 6 県を代表する地方ゼネコンが集結することで、単独では成し得ない価値共創や非連続の成長を目指していきます。

2. 東北アライアンス建設の概要

東北アライアンス建設は、東北 6 県を跨ぎ各県を代表する建設企業等の合併による設立を予定しています。各社のノウハウや技術を集約、または協力会社のシェアリングによりグループ総合力の向上を目指し、県単位から東北エリア全体を見渡した地域の課題解決に向け、人材不足の解消、災害対策協定の強化、DX 投資による業務効率化、協力企業ネットワークの構築等に取り組みます。

【東北アライアンス建設とみずほ銀行の役割（イメージ図）】



※ 1 【東北アライアンス建設の構成企業（50 音順）】

所在地	企業名	代表者
秋田県	大森建設株式会社	大森 三四郎
福島県	陰山建設株式会社	陰山 正弘
山形県	幸栄建設株式会社	佐藤 信勝
岩手県	株式会社タカヤ	細屋 伸央
宮城県	株式会社深松組	深松 努
青森県	株式会社藤本建設	長谷川 学
青森県	株式会社 NICHUUN	藤本 宏涼

NEWS RELEASE

会社名	東北アライアンス建設株式会社
本社所在地	福島県郡山市石湍町 1-9
設立	2025 年 6 月
代表取締役	陰山 正弘（陰山建設株式会社 代表取締役）
資本金等	資本金 70 百万円／資本準備金 70 百万円
事業内容	建設業

※2 価値共創投資枠

2023 年 2 月 15 日付プレスリリース：「価値共創に向けた取組みの強化について」

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230215release_jp.pdf

以 上

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO